

(様式3)

事業所名 グループホームやまゆりの家

目標達成計画

作成日: 令和4年3月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	26	ケース記録の記入もれ、実施状況の記号書き忘れがある。又、見出しが分かりやすく(細かく)とれていない。	記入もれや記号の書き忘れをなくす。パツと見て分かりやすいように見出しを細かくつけるようにする。	①記録した職員は、ケース記録の記入もれや記号の書き忘れがないか、見出しが細かくとれているか等を確認してから引き継ぐ。 ②記録を引き継いだ職員は、その記録を確認し、記入もれ等あった際は、すぐ本人に話すか付箋を貼り知らせる。 ③それ以外の職員でも、気付いた時はすぐ記録した職員に話すか付箋を貼り知らせるようにする。 ④記録の中で、疑問や質問等ある場合は、そのままにせず記録した職員に聞くか付箋を貼り聞いてみる。 ⑤口頭や付箋等で教えてもらった職員は、すぐ確認し見直しや訂正を行う。その後、教えてもらった職員に対しての報告や付箋に日付けとサインを入れる。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。